

東北地方 1 か月予報

(2月16日から3月15日までの天候見通し)

平成25年2月15日
仙台管区气象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

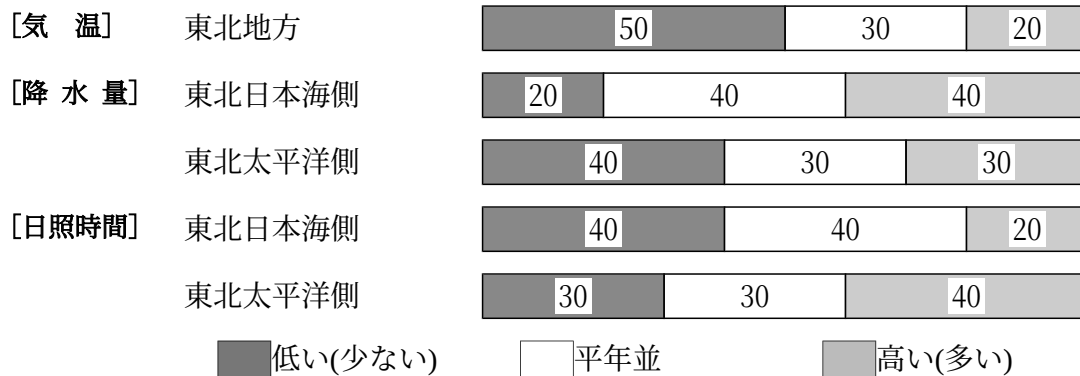
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

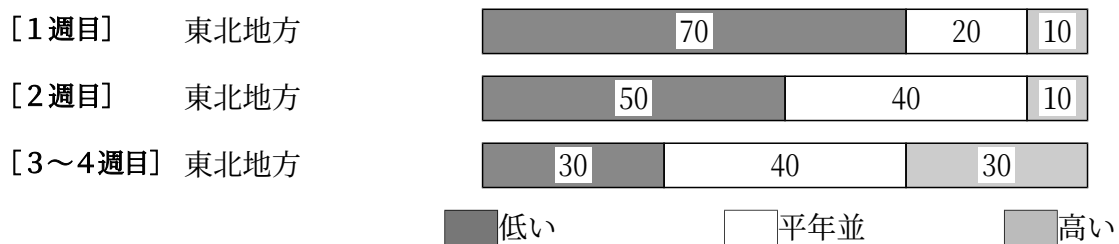
向こう1か月の平均気温は、低い確率50%です。降水量は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、東北日本海側で平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、低い確率70%です。2週目は、低い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 2月16日(土) ~ 3月15日(金)
1週目 : 2月16日(土) ~ 2月22日(金)
2週目 : 2月23日(土) ~ 3月1日(金)
3~4週目 : 3月2日(土) ~ 3月15日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は2月22日
3か月予報: 2月25日(月) 14時
暖候期予報: 2月25日(月) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	0.5	84.4	93.5	-0.5	0.2	1.2
深浦	1.2	75.2	70.6	0.3	0.9	1.9
むつ	0.1	80.8	111.8	-0.9	-0.2	0.7
八戸	0.8	44.9	139.0	-0.2	0.5	1.6
秋田	1.8	89.7	85.3	0.8	1.4	2.5
盛岡	0.2	61.7	135.2	-0.9	-0.2	1.0
大船渡	2.2	65.9	137.4	1.3	1.8	2.8
宮古	1.6	66.5	153.6	0.7	1.2	2.3
仙台	3.2	51.5	154.0	2.3	2.8	3.9
石巻	2.4	49.8	162.4	1.5	2.1	3.1
山形	1.5	62.0	113.8	0.3	1.0	2.3
新庄	0.5	118.5	78.5	-0.5	0.1	1.2
酒田	3.0	101.2	80.8	2.1	2.7	3.7
福島	3.5	56.6	149.4	2.5	3.0	4.2
若松	1.3	66.7	111.1	0.2	0.9	2.1
白河	2.1	53.8	156.0	1.1	1.7	2.9
小名浜	5.1	76.3	170.5	4.2	4.7	5.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1981～2010 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6～+0.6	81～113	96～103
東北日本海側	-0.5～+0.5	91～109	92～106
東北太平洋側	-0.6～+0.6	70～120	97～105

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.7～+0.8	-0.7～+0.8	-0.6～+0.6
東北日本海側	-0.7～+0.8	-0.7～+0.8	-0.7～+0.6
東北太平洋側	-0.7～+0.7	-0.7～+0.7	-0.6～+0.6

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成25年2月15日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（2月16日～3月15日）：

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年に比べ曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、低い確率50%です。降水量は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、東北日本海側で平年並または少ない確率ともに40%です。

1週目（2月16日～2月22日）：

気圧の谷や寒気の影響で曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側の平野部では晴れる日がある見込みです。

気温は、低い確率70%です。

2週目（2月23日～3月1日）：

冬型の気圧配置が強いでしょう。東北日本海側では平年に比べ曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

気温は、低い確率50%です。

3～4週目（3月2日～3月15日）：

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

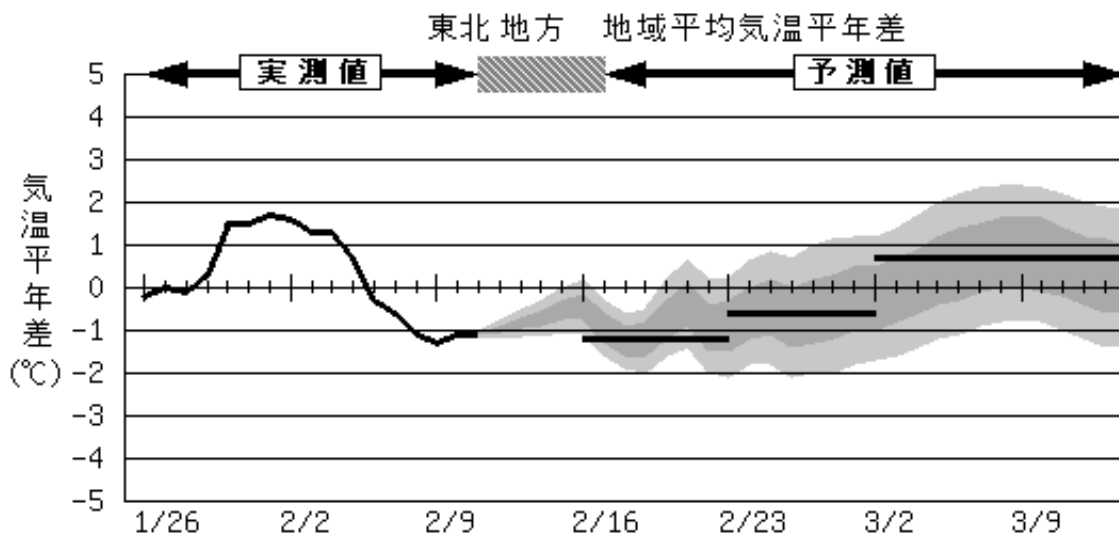
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
8.7	15.8	7.6	14.7	15.6	9.2	17.8	5.6	12.1	11.0	17.4	7.3

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目は平年を下回り、3～4週目は平年を上回る予想となっている。3～4週目は、その他の資料から平年程度と考える。



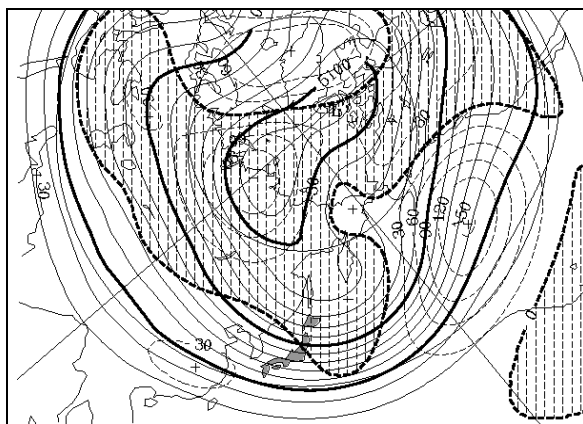
- ・ グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・ 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅（濃い陰影の範囲）と、信頼の程度が70%の幅（濃い陰影と薄い陰影の範囲）を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ・ ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1 か月平均と 1, 2 週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1 か月平均: 北日本はユーラシア北部から日本の東にかけて広がる負偏差に覆われる。東北地方は寒気の影響を受けやすく、低温が予想される。

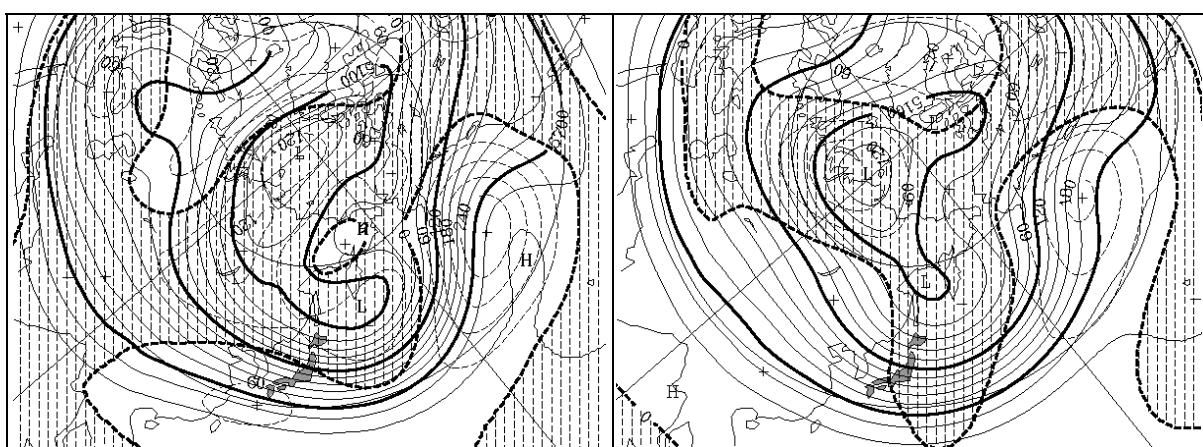
1 週目: 東シナ海付近を中心に正偏差、東シベリアから北日本で負偏差となる。シベリア高気圧、アリューシャン低気圧ともに強く、北日本を中心に冬型の気圧配置は強くなる見込み。東北地方は寒気の影響を受けやすく、低温が予想される。

2 週目: 1 週目に比べ東シナ海付近の正偏差は弱まり、日本の東の負偏差が広がる。北日本は引き続き冬型の気圧配置が強い。東北地方は寒気の影響を受けやすく、低温が予想される。



1 か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は 1, 2 週目と同じ。ただし偏差の間隔は 30m。



1 週目平均 500hPa 予想天気図

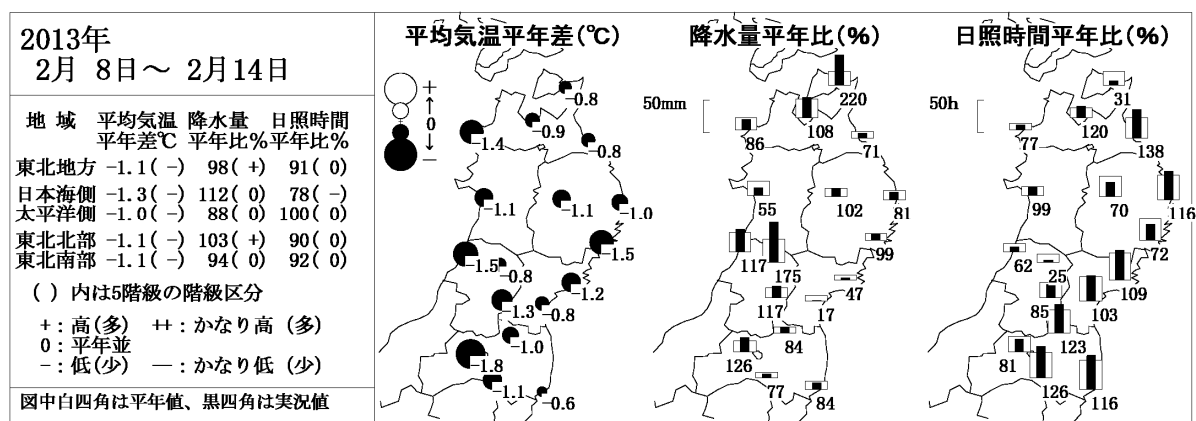
2 週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高線 (間隔 60m)、点線は偏差 (間隔 60m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近 1 週間 (2 月 8 日～2 月 14 日) の天候の経過

この期間、前半は冬型の気圧配置が続き、後半は高気圧と気圧の谷が交互に通過した。東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。期間の前半を中心に寒気の影響を受けたため、気温は低かった。8 日、10 日、11 日は冬型の気圧配置の影響で東北日本海側を中心に大雪となり、10 日は山形県で日降雪量 50cm 以上の所があった。

平均気温は低い。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差 (比)